

警察庁予算監視・効率化チーム
第4回会合（平成22年10月26日開催）議事要旨

1 日時

平成22年10月26日（火） 午後4時00分から午後4時45分まで

2 場所

警察庁第2会議室

3 議事次第

- (1) チームリーダー挨拶（国家公安委員会委員長）
- (2) 平成22年度第2四半期における予算監視・効率化の取組状況について
- (3) 平成21年度における契約及び補助金の支出先について
- (4) 予算執行の効率性の向上等に向けた職員からの提案に対する対応について
- (5) 行政事業レビュー点検結果の平成23年度概算要求への反映状況について
- (6) 随意契約の見直し状況等について

4 議事要旨

- (1) チームリーダー挨拶（国家公安委員会委員長）

本日は、第2四半期における予算の執行状況等について、御議論いただくこととしている。チーム会合での活発な議論を通じて、警察庁における予算執行の効率性の一層の向上に努めてまいりたい。

- (2)から(6)まで 事務局説明及び自由討議

事務局から、配布資料に沿って説明した後、意見交換がなされた。意見交換の概要は以下のとおり。

予算の執行率は年度終了後の事後検証において参考とすべきものであり、第2四半期の予算支出状況を確認する上では参考とならないのではないかと。むしろ執行率を高めることに主眼が置かれた場合、計画に合わせるための不必要な予算執行が生じる可能性もあるのではないかと。

年度終了後に行う事後検証を見据えて、途中経過を御説明しているものであり、今の時点で何らかの評価をしていただく趣旨ではない。

予算の執行状況の把握の方法として、支出額に基づく方法だけでは、契約しても支出されるまでは計上されず、把握できないものもあることから、契約額についても参考とすべきではないかと。

どのような対応が可能か、次回の会合までに検討したい。

予定価格を作成する際に、単に業者からの見積りに一定率を乗じて作成するのではなく、市場価格を調査することが重要である。そうでなければ、いつまでも無駄な支出があるのではないかとという批判から抜け出すことはできない。

予定価格については、契約実績、市場価格、業者からの見積り等、様々な要素を加味して作成している。

平成23年度予算の概算要求における人件費の削減状況についてはいかがか。

一部の手当等について実績を踏まえて削減した。

5 結果

支出に関する計画の進ちょく把握・管理等、「行政事業レビュー」の実施、職員の参画や意識の向上を図る取組み、予算執行の情報開示等、平成22年度警察庁予算執行計画において取り組むべきとされている事項を着実に実施してきたところであるが、本日のチーム会合の結果も踏まえ、第3四半期以降も引き続き、予算執行の効率性の向上等に努める。